



## 人と人が繋がる“居場所”の建築的な手法を研究

これなが みき  
家政学部 生活造形学科 准教授 **是永 美樹**コミュニティの場として開放する住まい方を研究  
異世代ホームシェアの調査から、地域貢献の可能性を模索コメントできる  
研究領域

開く住まい

居場所づくり

異世代ホームシェア

農家住宅

京都女子大学は、教員の研究活動や社会連携など“社会のための女子大学”の姿をお伝えするニュースレターを発信しています。今回は、都市計画・建築手法を研究する生活造形学科 是永美樹准教授をご紹介します。

**■生活スタイルの多様化にあわせて変化する住まい方。人と人が繋がることができる“居場所”の建築手法を研究。**

世帯構成の変化やIT技術の普及による生活スタイルの変化に伴い、住まいに求められる役割も多様になっています。その一つに、住まいの一部に家族以外の人を招き入れてコミュニティの場として開く住まい方があります。

是永准教授は、このような人と人をつなぐ「居場所」となっている住宅を「開く住まい」と定義し、高齢者のサロンやカルチャー教室、子どもの居場所や家庭文庫といった具体的な事例の調査を通じて、住空間というプライベートな領域に人が集う空間をつくる際、どのような工夫や配慮が必要なのか、ということ进行分析・研究しています。近い将来、世帯人数の平均が2人以下になる現代、家族のためのハコであった住宅が地域をつなぐミクロな「居場所」となる可能性を感じています。

**■高齢者と学生が同居する「京都ソリデール」事業の共同研究を通じ、地域貢献としての異世代ホームシェアの可能性を検討。**

是永准教授は、高齢者の自宅に学生が同居する京都府の施策「次世代下宿『京都ソリデール』事業」の実態調査を共同研究で行いました。調査からは、高齢者と若者の双方が「安心感」と「日常的なコミュニケーション」を得ること、さらに世代を超えた学びにつながる住まい方となっていること、また学生にとってはその後の成長につながる有意義な居住経験となっていることがわかりました。学生を受け入れる居住環境としては「戸建て」や「広さ」といった条件よりも、高齢者との「交流」を学生が「選択」できる動線が重要であることを導きました。

また是永准教授は、高齢化率の高い団地の空き室を学生寮や社宅にして廊下や集会所での異世代交流を図る「団地ソリデール」や、大学周辺の高齢者の住宅に学生が同居する「大学ソリデール」、卒業生が出身大学の学生と同居する「同窓会ソリデール」など、異世代ホームシェアの地域貢献の可能性を模索中です。

**■農家住宅や農村だった地域の調査、伝統的建築についての研究。**

是永准教授は、京都市内の近郊農村だった地域に残る伝統的な農家住宅を調査しています。これらは江戸中期～大正中期ごろに建てられたものも多く、京都の生活文化を伝える貴重な文化財ですが、大規模ゆへの継承の難しさや都市近郊という立地ゆへの再開発に伴う解体の危機に直面しています。是永准教授は、生業や世帯構成が大きく変わる現代において、このような地域に残る農家住宅の魅力の共有と農家住宅継承のための戦略が必要と考え、地域住民や子どもたちの居場所になるようなコミュニティの場への活用も含め、調査・研究を継続しています。

## 是永美樹（これなが・みき） Profile

<https://gyouseki-db.kyoto-wu.ac.jp/kywuhp/KgApp/k03/resid/S001746>

- 略歴** 1994年3月東京工業大学工学部建築学科卒業、1996年3月東京工業大学大学院社会開発工学専攻修了。設計事務所勤務後、東京工業大学建築学専攻助手、同大学助教、京都女子大学 家政学部生活造形学科 非常勤講師を経て、2018年4月より現職。博士（工学）、一級建築士、NPO法人古材文化の会理事、京都文化財マネージャー。
- 論文** 『次世代下宿「京都ソリデール」事業による住まい方に関する研究－高齢者と学生の異世代ホームシェアの課題と効果－』（共著/2025年/住総研研究論文集）、『住まいを開放した高齢者の居場所づくりに関する研究－京都市内の事例調査－』（単著/2022年/日本建築学会技術報告集）、『世帯人数の少ない現代住宅における開く領域に関する研究』（単著/2023年/日本建築学会近畿支部研究報告集）、
- 著書** 『座りたくなる住宅 居場所から広がる住宅の可能性』（共著/2024年/彰国社）、『境界から考える住宅』（共著/2017年/彰国社）、『マカオの空間遺産－観光都市の形成と居住環境』（単著/2017年/萌文社）

&lt;本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先&gt;

- ・京都女子大学入試広報課 岡橋・竹縄 TEL: 075-531-7054 FAX: 075-531-7222
- ・京都女子大学広報デスク（プラニング・ポート内）福嶋・井上 TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216
- ・京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp>